

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>柳河校区の場合、再編協議は令和7年度からだが、令和10年度の開校に間に合うのか不安である。事前に協議を始めることはできるか？</p> <p>学校再編協議会には誰が参加するのか？統合を間近に控える保護者だけでなく、今の幼稚園生や保育園生の保護者と、学校について学びながら協議をしていく必要があるのではないか？</p> <p>柳河小や東宮永小の卒業生から、学校がなくなってしまう不安な気持ちを聞く。子どもが少なくなるからという理由だけで再編するのではなく、子どもが増えていくような施策に取り組むべきではないか？せっきく3つの学校から集まって再編協議会が組織されるので、子どもが増えていくような学校づくりについて話し合いたい。</p>	<p>他市町の事例から協議期間を2～3年ぐらいと考えている。協議の内容次第でかかる時間も違うと思う。(仮称)柳城小の場合、通学手段についてはほとんどの地域が2km以内なので、東宮永校区南側のみスクールバスになるのではないかと。また、校名・校章をどのように決めるのか等、決定方法を協議する部分もある。以上、3年間で完了できると考えているが、通学安全等にかかる周辺環境の整備等については、開校までに解決できない課題もあると思うので、そこは継続的に整備を進めていきたい。また、旧大和町地区から順次スケジュールに沿って進めていくので、先行する他の学校の進行状況も見ながら対応していく。協議がまとまらない場合、予定が後ろ倒しになることもあるかもしれないが、できるだけスケジュールどおりに進めたいと考えている。</p> <p>再編協議会(仮称)のメンバーは、各校区から選出してもらおう。みやま市の桜舞館小の例では、統合する学校(4校)ごとに、地域住民、保護者、教職員の3区分で3名ずつが参加した。この人数や区分は、各地域の状況に応じて調整することも考えられる。さらに、協議会の中では、校歌について、制服についてなど協議項目ごとに部会を作って進めていく予定だが、柳川市での学校再編は、ほぼ初めての事業であるので、先行事例を参考に組み進んでいきたい。</p> <p>母校がなくなるのが寂しい気持ちはよく分かる。しかし、今のままではあと数年で各学年1クラスずつの学校になってしまう。そこで、学校規模を適正化することで教育環境を充実させ、保護者から通わせて良かったと思われるような学校を作りたいと考えて、この計画案を策定している。市の人口が減少していることは事実であるが、保護者から選ばれるような学校を作ることで、柳川市にとどまってもらいたい。再編により学校数が少なくなれば、統合後の学校にまとまった資金が投資できるようになる。これにより市内外の方からも選んで頂けるような魅力ある学校を作りたい。ご理解ご協力をお願いしたい。</p>
2	<p>子どもが減少しているので、学校再編はやむをえないと思うが、統合先である城内小では施設の規模が小さいのではないかと。また、学童保育についても、柳河53人・城内55人という規模である。現在、城内小の学童保育は、1つのクラスでは入りきれず、体育館も使って対応している状況。投資の抑制を謳っているが、子どもたちのため、より良い環境を整えることは必要である。このあたりについてどうお考えか？</p>	<p>(学校教育課長)確かに施設整備は大きな課題であり、学校の改修は当然必要になる。現在、城内小に限らず、児童生徒数の減少に伴い、普通教室を特別教室に転用している学校が多くある。これを再度普通教室に戻して教室数を確保する予定である。また、学童保育については、現時点で学校のどの部分を使うか決まっていないが、所管課である子育て支援課と協議する中で、基本的には学校内に設ける方針を持っている。今後、学校が集約されることで、新設校に資金を集中させることができるようになるため、開校後も、周囲から選ばれる学校として、教育環境の整備に投資を続け、立派な学校となるようにしたい。</p> <p>(教育長)城内小の規模については、私も何度も現場を確認し、いろんな面から検討している。地域の方々の期待に応えなくてはという思いは十分持っている。ご協力を賜りたい。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
3	<p>要望である。統合前のそれぞれの学校の校章、校旗など、歴史の詰まった品々を飾る部屋を設けて欲しい。</p>	<p>(学校教育課長)3校の伝統は大切であり、それぞれの学校には立派な校旗などがある。そういった伝統や歴史を伝えられるような部屋などを検討したい。</p> <p>(教育長)統合する3つの学校の文化を残すことは重要である。部屋という形でつくるかは検討が必要として、今までの先輩方の思いを受け継ぎ、新しい学校にも伝えていきたい。</p>
	<p>柳城中にはプールがないので整備して欲しい。</p>	<p>(学校教育課長)プールについては、教育委員会の中で各学校のプールを維持するのか、民間のプールに委託するののかについての議論をしているところである。近年の夏は気温が高く、屋外プールで水泳の授業ができないことが多くなってきており、短期間のプールのために多くの維持費がかかっている状況である。かといって、屋内プールを作るのは難しいため、最適な方法を検討している。</p> <p>(教育長)近年では、熱中症の心配から、学校のプールで泳げない日が多くなり、夏休みもプールの開放ができないような状況になってきている。その中で、通年で利用可能な民間の屋内プールに委託するという案も考えているところである。</p>
	<p>再編は良いことだと思うが、予算規模はどの程度か？計画はあるが予算が無いということでは困る。</p>	<p>10年間で、全ての学校を新設し、完成形まで整える予算を確保するのは難しいと考えており、可能な限り既存の施設を活用する計画にしている。学校再編に係る補助金や、旧大和町や旧柳川市の過疎地域指定による資金等を活用した上で、その後も再編後の学校に投資を集中させ、継続して施設整備を進めていきたい。</p>
	<p>統合後には、子ども達が希望を持って学校に行けるよう、きれいな校舎で、たくさんの先生が確保された状態が望ましい。古い学校に押し込められたなどと思われないように、必要な施設はきちんと整備していただきたい。教職員の確保についてもきちんと陳情等していただきたい。よろしくお願いします。</p>	<p>承知した。ありがとうございます。</p>
	<p>人口減少に伴い児童生徒数が減ったことで、学校再編という流れはやむをえないと思う。ただ、このままでは蒲池校区など、適正な学校規模が何年保てるのか？さらに再編が必要にならないか心配である。これは教育委員会の所管ではないと思うが、市として人口減をいかに食い止めるかという施策に取り組んで欲しい。</p>	<p>教育委員会の立場としては、学校再編により、市内外の方から選んでいただけるような魅力ある学校づくりに取り組むことで、人口減への対策を進めていきたいと考えている。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
5	学校再編協議会の趣旨は理解したが、学校跡地の活用は白紙とのことだった。跡地の活用については、再編協議会で検討するのか？それとも、跡地活用検討委員会のような形で別の場を設けるのか？	跡地活用は、再編協議会（仮称）とは切り離して考える。跡地活用の所管は教育委員会ではないため、現時点では具体的な進め方をお答えできないが、市で方向性を出しながら、その中で地域の方の意見を聞く場を設け、協議を進めていく形になると思われる。
6	<p>学校跡地の活用について、地域の意見や要望はどのように集めるのか？早めに取りかからなくてはならないのでは？また、要望はどのように取り入れられるのか？</p> <p>地域に活用方針が伝わるのは、いつになるのか？現在、校庭では子ども達がキャッチボール等行っており、今後どうなるかはまだ分からないが、そんな場所がマンションになるのは寂しい。子どもが遊びに行く場所がなくなってしまう。跡地活用はとても大切な話だと思うので、前もって地域と協議することを検討して欲しい。</p>	<p>実務上の話になるが、学校用地は行政財産であるが、廃校になった後は、市の普通財産という形になる。その活用についてどのように意見や要望を集め、反映できるのかというご質問があったことについては、所管課に伝える。また、柳河小には借地の部分がある。こういった状況を含め、活用方針を検討することになると思われる。</p> <p>説明会の中で、教育委員会の所管外の質問も多くいただいており、それは取りまとめて所管課と共有する。跡地については、地域の関心が高いところだが、具体的にいつ検討を始めるのか、どのように活用方針が決まるのかについては、今のところ未定である。教育委員会として決定することの出来ない課題であるため、持ち帰り、庁議等で共有したい。</p>
7	跡地を売却した利益を、学校再編の財源に充てるわけではないのか？	今のところ、外部から学校跡地を購入したいという話が出ていない。校舎等については、維持管理費が課題である。給水や電気を止める、更地にする等で維持費を減らすことが可能だが、使える状態のまま校舎等を残すには経費がかかる。現在、市では既存施設を床面積ベースで2割削減するよう目指しており、今後、市として残す施設を選別する必要が出てくるとと思われる。